

令和7年度 浜松市立佐藤小学校運営協議会

【日時】 令和7年7月23日(水) 13:30～15:00

【会場】 浜松市立佐藤小学校 会議室

【次第】

I 日程等説明 13:30～13:35

説明【教頭】

II 学校運営協議会 13:35～15:00

全体司会【教頭】

※開催要件（委員の過半数の出席）確認

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 自己紹介（職員→CS委員）
- 4 学校職員との協議

【ねらいと協議のゴール】

- 「教育課程中間評価」から本校の課題を明確にする。
- 教職員・保護者・地域の思いを共有する。
- 学校・保護者・地域で何ができるかを考える。

(1) 「教育課程中間評価」の概要 【大石】

(2) 協議

- ① 地域の宝を生かした教育活動を進めるために、学校・保護者・地域ができること
- ② 自分のよさを見つけられる子を育てるために、学校・保護者・地域ができること

※14:20 職員退室

- 5 議長の選出
- 6 前回会議録の確認
- 7 熟議(説明→質疑・熟議→承認)

進行【議長】

【熟議のゴール】

- 教職員と協議した2点について、保護者・地域が取り組むことと具体的な方法、役割分担を決定する。（今年度中に取り組むこと・R8年度から取り組むこと）

8 報告

(1) 学校支援ボランティアについて 【安富】

- ・ 1 学期活動実績
- ・ 2 学期以降の活動について

9 連絡

(1) 学校運営協議会の次回以降の日程について 【大石】

第3回 12月 5日(金) 13:30~15:30

第4回 2月12日(木) 9:00~11:00

(2) 今後の学校公開について

- ・ 10月16日(木) 13:15~ 参観会
- ・ 11月26日(水) AM さとっこわくわくコンサート 後日案内発送
- ・ 2月14日(金) 13:15~ 参観会

令和7年度 浜松市立佐藤小学校運営協議会委員等名簿

【学校運営協議会委員】

役 職	氏 名	ふりがな	備 考
会 長	尾上 弘	おのうえ ひろし	
副会長	酒井 里江子	さかい りえこ	
委 員	伊藤 安男	いとう やすお	
委 員	湯山 紀美代	ゆやま きみよ	
委 員	一ノ瀬 正行	いちのせ まさゆき	
委 員	鈴木 涼介	すずき りょうすけ	
委 員 学校支援CD	安富 小織	やすとみ さおり	

【オブザーバー】

東部協働センター コミュニティ担当	神谷 匠	かみや たくみ	
----------------------	------	---------	--

【学校職員】

校 長	松下 欣美	まつした よしみ	
教 頭	高木 康泰	たかぎ やすひろ	
教務主任 CS担当教員	大石 葉子	おおいし ようこ	
CSディレクター	坂倉 祥子	さくら しょうこ	

【浜松市教育委員会】

担当指導主事	鈴木 陽子	すずき ようこ	
--------	-------	---------	--

【グループ協議】

ホワイトボード

※尾上会長、酒井副会長、安富学校支援CD、校長、教頭は各グループを回る。

★…司会 ☆…記録：模造紙（枠なし、書き方は自由）に記入

指導主事	【Aグループ】 伊藤（委員） ★安宅（1年②）☆伊堂（3年③） 柴田（6年①）高藤（ひ1③） 切畠（ワリ②）坂倉（CSディレクター）	【Bグループ】 一ノ瀬（委員） 加藤（1年①）楠（4年①） ★里実（6年②）☆齋藤（ひ2②） 氏原（言語③）	校長・教頭
	【Dグループ】 鈴木（委員） 大川（3年①）☆土屋（5年②） 安間（な2②）高杉（ひ4②） ★大石（CS担当教員④）	【Cグループ】 湯山（委員） ☆井上（2年②）★足立（5年③） 高崎（な1④）泉澤（ひ3①） 村松（言語②）	
オブザーバー			CS担当教員・CSディレクター

① 地域の宝を生かした教育活動を進めるために、学校・保護者・地域ができること

	学校	保護者	地域
2学期に 取り組めそうなこと			
R8年度に 取り組めそうなこと			

② 自分のよさを見つけられる子を育てるために、学校・保護者・地域ができること

	学校	保護者	地域
2学期に 取り組めそうなこと			
R8年度に 取り組めそうなこと			

令和7年度 第1回 佐藤小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和7年4月22日(火) 14時15分から16時00分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 尾上 弘、酒井 里江子、伊藤 安男、湯山 紀美代、安富 小織
4. 欠席委員 一之瀬 正行、鈴木 涼介
5. オブザーバー 神谷 匠（東部協働センター、コミュニティ担当）
6. 学 校 松下 欣美（校長）、高木 康泰（教頭）、大石 葉子（CS担当）、
泉澤 孝典（生徒指導主任）、坂倉 祥子（CSディレクター）
7. 教育委員会 なし
8. 傍 聴 者 なし
9. 会議録作成者 CSディレクター 坂倉 祥子
10. 議長の選出

司会から会長の選出について委員に意見を求めたところ、伊藤委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 浜松市立佐藤小学校いじめ防止基本方針について
- (3) 「かがやく子」を育てるために学校・子供・先生・地域の一体感を深めるには
- (4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について

12. 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

伊藤委員 地域と一体となった活動に繋げていくためには、関心のある地域住民や保護者に先生の言葉を直に届け、一同に理解する為の取り組みや場が必要だと感じる。

酒井委員 さくら連絡網での発信は、興味がある者として非常に嬉しく思う。今後も継続してほしい。

安富委員 「来てもらうばかり」ではCSは地域に浸透しない。学校側が子ども達を地域に送り出す形で貢献していくことも、基本方針にあった関わりを意識していく中で、今後の活動として必要になっていくのではないかな。

尾上委員 PTA総会の紙面開催により、保護者に直接言葉を届ける場がなく、現状難しいことも多い。様々なことがリモートで可能になった時代だからこそ、今の子供たちには人との関わりを持つ力をつけていってほしい。

熟議の結果、今回出た意見を課題化した上で今後も熟議を続けていくとし、これを承認した。

(2) 浜松市立佐藤小学校いじめ防止対策方針について

議長の指示により、校長と生徒指導主任より、別紙資料に基づきいじめ防止対策方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

伊藤委員 各学校で「人権教室」を行っており、いじめ等の人権問題について考え、学ぶ活動を提供している。声をかけてくれれば対応可能なため、本校でも取り入れたらどうか。

尾上委員 被害者側も加害者側も、対話をして言いたい事がきちんと言える力や、相手の言葉を聞いてあげられる力が大切だと感じる。失敗を良い方向に収めていく力を身に付けてほしい。

(3) 「かがやく子」を育てるために学校・子供・先生・地域の一体感を深めるには

安富委員 今後は地域と学校が互いに必要性を高めていかなければならない。学校側が求めるばかりではなく、地域に貢献していく事で繋がりを作っていったら良い。佐藤小学校は、学区外の生徒の割合が多いことも特徴の一つ。また一体感を深めるにあたり、個を大切にするあまり、集団としての対応の難しさを感じている。

尾上委員 個を大切にしつつ、周囲との関わりを持つ難しさは感じる。地域の大人が手本となる形を考えていきたい。学校を介して、いろいろな立場の人と子供たちが関わり合える機会があると良い。

熟議の結果、地域のニーズを聞くなどまずは現状を整理し、今後の運営協議会にて熟議を続けていく事を確認した。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により教頭から、別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業について説明があった。

その他報告事項

次回会議は、令和7年7月23日(水)13時30分から佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。また今後の学校公開、さとう運動会・参観会についての案内と、夏のヘルメットの着用についての説明があった。